別記様式（第５条第１項関係）

政務活動費収支報告書

令和 8年 4月 1 日

津山市議会議長　　殿

津山市議会議員　　田口浩二　[redacted]

津山市議会政務活動費の交付に関する条例第５条第１項の規定により，交付を受けた政務活動費について，下記のとおり報告します。

記

1　収　入

政務活動費の総額　￥６００，０００円

2　支　出

項　　目	支　出　額	備　　考
調査研究費 要請・陳情活動費	225,990 円	出張旅費等
研　修　費 会　議　費	35,900 円	研修会参加費等
広　報　費	390,250 円	議会 NEWS 送付等
広　聴　費	0 円	
資料作成費	39,367 円	インク・ノートパソコン購入費
資料購入費	230,722 円	新聞・書籍購入費
人　件　費	0 円	
事　務　所　費	0 円	
合　　計	922,229 円	

(注)備考欄には，主たる支出の内訳を記載すること。　　支出合計￥９２２，２２９円

3　残　余

政務活動費の総額－支出の総額　　－￥３２２，２２９円

（参考様式1）

No.1

（　　7年度）

費目別一覧表

費目名　調査研究費、要請・陳情活動費

年月日	支出内容	支出額	備　考
7. 5.16	出張旅費	57,000円	第17回日本自治創造学会研究大会
7. 5.18	出張旅費	7,620円	福山バラ祭り
7. 7.29	出張旅費	19,640円	令和7年度第2回市町村長等・議会議員特別セミナー
7.10. 8	出張旅費	79,810円	能登半島被災地・和倉ダスキン・金沢市重伝建
7.11. 9	出張旅費	57,000円	全国地方議会サミット2025
7.11.29	出張旅費	4,920円	岡山イノベーションコンテスト2025
小　計		225,990円	

※ 費目ごとに各支出伝票を整理し、その表紙としてご活用ください。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　７年　　５月　　１６日		
費　　目	❶ 調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	５７，０００円

支出内容	第１７回日本自治創造学会研究大会 参加のための出張旅費

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

様式第４号(第３条関係)

支　払　証　明　書

金　　額　　５７，０００　　円

(内　訳)

支　　払　　日	令和　７年　　５月　　１６日
支　払　内　容	第１７回日本自治創造学会研究大会 参加のための出張旅費
支　　払　　先	名称　田口浩二 住所　津山市上横野３７７
領収書等を徴することができない理由	「津山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」に準じ算出した金額であるため。

上記のとおり支払ったことを証明します。

令和　７年　５月１６日

津山市議会議員　　田口浩二　[redacted]

旅費計算書

議員氏名	田口　浩二
出張先(内容)	東京　（日本自治創造学会　研究大会参加）
出　張　日	令和7年5月15日～5月16日

日程	行程			交通手段					
月　日	乗車地		降車地	鉄道費(JR) 基本	鉄道費(JR) 特急等	私鉄	航空費	バス賃等	モノレール
5月15日	津山	→	岡山	11,000	7,100				
〃	岡山	→	東京						
〃	東京	→	御茶ノ水						
5月16日	御茶ノ水	→	東京	11,000	7,100				
〃	東京	→	岡山						
〃	岡山	→	津山						
		→							
		→							
		→							
		→							
	小　計			22,000	14,200	0	0	0	0

合計(単位:円)

36,200 (A)

車賃(自家用車)									
		→			Km				
		→			Km				
		→			Km				
		→			Km				
		→			Km				
		→			Km				
	小　計			0	Km	×20円 (1Kmあたりの単価)	＝	0	円

合計(単位:円)

0 (B)

交通費		(A)＋(B)　＝　36,200 円
宿泊料		14,800 円×　1 日＝　14,800 円
日当	県外	3,000 円×　2 日＝　6,000 円
	県内	1,700 円×　0 日＝　0 円
合計		57,000 円

上記出張における旅費計上額　57,000 円

（参考様式２）

令和　７年　　５月　１６日

出　張　等　報　告　書

津山市議会議員　　田口浩二

出張日／受講日	令和　７年　５月１５日　～　令和　７年　５月１６日
種　　別	□調査研究・視察　□要請・陳情　■研修会（オンラインを含む）　□各種会議
出　張　先	明治大学アカデミーホール
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	第１７回日本自治創造学会研究大会 ～地方自治のあり方を問う～
応対者／講師名	日本自治創造学会理事長　穂坂邦夫氏 名古屋大学名誉教授　後　房雄氏 政策研究大学大学院教授　飯尾　潤氏 独立行政法人国際協力機構理事長特別補佐　井倉義伸氏 東京大学大学院法学政治学研究科教授　金井利之氏 AIエンジニア・起業家・SF作家　安野貴博氏 日本大学法学部政治経済学科専任講師　安野修右氏 神戸大学大学院法学研究科教授　砂原庸介氏 石川県副知事　浅野大介氏 明治大学教授　牛山久仁彦氏
目　　的	地方自治のあり方について学ぶ
概　　要	スケジュール ５月１５日 13：00～13：10　大会挨拶　保坂邦夫 13：10～14：00　地方自治における政治の復権　後　房雄 14：00～14：15　質疑 14：15～15：05　日本の統治構造　飯尾　潤 15：05～15：20　質疑 15：20～15：35　休憩 15：35～16：25　JICAにおける地方創生2.0・地域活性化事業への挑戦　井倉義伸

概　　要	16：25～16：40　質疑 16：40～17：30　地方自治のあり方を問う　金井利之 17：30～17：45　質疑 5月16日 10：00～10：45　AI時代の双方向コミュニケーション選挙戦略　安野貴博 10：45～11：00　質疑 11：00～11：45　ネット選挙に対応する　安野修右 11：45～12：00　質疑 12：00～13：00　休憩 13：00～13：45　（財）日本自治創造学会総会 13：45～14：00　質疑 14：00～14：45　高齢化社会における大災害への対応と課題　浅野大介 14：45～15：00　質疑 15：00～15：05　閉会挨拶　牛山久仁彦 上記スケジュールにより研究大会が開催された。 5月15日は、穂坂理事長より、地方の自立が難しく護送船団方式からの脱却が必要であるとの開会挨拶で始まった。続けて、後教授から戦後の自治体の変遷について説明ののち、地方自治における政治の欠如の事例説明がなされた。二元代表制の原理的矛盾については、議員の権限が小さくなることについて言及された。そのうえで、自治体における議院内閣制を提案された。そして、多数派が責任をもって政治を行うべきであるとまとめられた。次に、飯尾教授から政治改革はしているけれども、どうもあまりよくならない。という辛口のコメントで始まった。現在の政治は官僚主導による政策が政府の政策になっており、議院内閣制が機能していない。政治主導にしていくために政治家が国民の信頼を得ることが大切で、有権者の意見をどうやったら聴けるのか一生懸命にしないといけない。そして、その意見を議会で議論して政策にしていくことが重要であるとまとめられた。続けて、井倉JICA特別補佐からはJICAの活動を紹介していただき、その活動が地方創生・地域活性化にどのように寄与しているのかを説明いただいた。国際交流を通じて得た経験、人材を地方創生に活用していくためにJICAを理解し、連携をしていくことを提案された。最後に、金井教授からは地方自治を法律的な観点から説明いただき、改正地方自治法の課題について指摘された。補充的指示権について国の権限が強化されたことについて自治体側からの反対がなかったことなどを問題視されていた。 今回は、北は北海道から南は沖縄県まで総勢286名が参加されていた。 2日目は、安野氏より東京都知事選におけるAIの活用事例を詳細に説明いただき、これからの民意の収集、分析、広報の手法についてDXの重要性を訴えられた。AIを使うことによりコミュニケーションを増幅させ、かつてできなかった数の人たちと

概　　要	のコミュニケーションを可能にした。という成果をあげられ、これからのDXの思考の仕方、手法についての見解を述べられた。次に、安野教授から公職選挙法における選挙運動規制について講演いただいた。インターネット選挙運動の位置づけ、解釈について言及され、自由な選挙運動をするために法との整合性をどうするかを数点の事例を挙げられて説明された。続けて、砂原教授よりバンクーバーと大阪を比較することで、この違いがどのように生まれ影響しているかを説明することにより地方自治のあり方について講演いただいた。地方政府同士が競争し連携できないことによる弊害を指摘され、その解決のためには、地方議会選挙制度改革と公共サービスマネジメントが必要となるとの見解を示された。最後に、浅野副知事から石川県の被災の状況並びに対応について説明いただき、広域被災者データベースの必要性、重要性、可能性について提言をいただいた。また、被災時の支援を受けるための受容力を平時にどのようにつけておくのかが、いざという時の力になるとのことである。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	今回の講演は地方自治の根幹について考えさせられるものであったと思う。政治の在り方、議員の役割、国際交流を通じた連携、法との整合性、DXの推進、地方政府同士での連携、平時における対策は早急に対策が必要になると感じる。人口減少が進んでいく中においても新しい技術を積極的に取り入れながら制度改革を進め、本市の発展に寄与したい。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　７年　５月　１８日		
費目	①調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	７，６２０円

支出内容	福山バラ祭り視察のための出張旅費

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

様式第４号(第３条関係)

支　払　証　明　書

金　　額　　７，６２０　　円

(内　訳)

支　　払　　日	令和　７年　　５月　　１８日
支　払　内　容	福山バラ祭り視察のための出張旅費
支　　払　　先	名称　田口浩二 住所　津山市上横野３７７
領収書等を徴することができない理由	「津山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」に準じ算出した金額であるため。

上記のとおり支払ったことを証明します。

令和　７年　５月１８日

津山市議会議員　　田口浩二　[redacted]

旅費計算書

議員氏名	田口 浩二
出張先(内容)	福山 （ばら祭 視察）
出 張 日	令和 7年 5月18日

日程	行程			交通手段					
月 日	乗車地		降車地	鉄道費(JR) 基本	鉄道費(JR) 特急等	私鉄	航空費	バス賃等	モノレール
5月18日	津山	→	岡山	2,310					
〃	岡山	→	福山						
〃	福山	→	岡山	2,310					
〃	岡山	→	津山						
		→							
		→							
		→							
		→							
		→							
		→							
	小 計			4,620	0	0	0	0	0

合計(単位:円)

4,620 (A)

車賃 (自家用車)									
		→			Km				
		→			Km				
		→			Km				
		→			Km				
		→			Km				
		→			Km				
	小 計			0	Km	×20円 (1Kmあたりの単価)	＝	0	円

合計(単位:円)

0 (B)

交通費		(A)＋(B) ＝ 4,620 円
宿泊料		14,800 円× 0 日＝ 0 円
日当	県外	3,000 円× 1 日＝ 3,000 円
	県内	1,700 円× 0 日＝ 0 円
合計		7,620 円

上記出張における旅費計上額 **7,620** 円

（参考様式２）

令和　７年　　５月　１８日

出　張　等　報　告　書

津山市議会議員　　田口浩二

出張日／受講日	令和　７年　５月１８日
種　　別	■調査研究・視察　□要請・陳情　□研修会（オンラインを含む）　□各種会議
出　張　先	福山市
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	福山バラ祭り 2025
応対者／講師名	福山市立高取中学校　宇都宮紀雄教諭（元津山高専国際交流担当）
目　　的	イベント開催による地域への効果と会場設置の手法を学ぶ
概　　要	例年５月に２日間開催され、約４０万人の来場者を集める福山バラ祭りを宇都宮先生のお世話で会場を視察し、祭りの状況並びに会場の設営等について学んだ。昨年（2024 年）は 487,000 人の来場者があり市の人口とほぼ同じとなる来場者であり、2016 年には 86 万人の来場者を集めている。本年は 3 年に 1 度開催される世界バラ会議も福山市で開催される。7 つの会場に分かれて、多くの出店があり、バラの花のコンディションも素晴らしく、それぞれ魅力ある催しが開催され、多くの来場者が訪れ楽しんでいた。会場内の規制も一般通行者とイベントの関係者については分離されており、円滑な運営がなされていた。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	本市においてもごんご祭りや津山祭りの様なイベント開催時に一般通行者とイベント関係者を分離するような工夫を取り入れ、すべての人々がストレスなく楽しめるイベントとなるよう取り組んでいきたい。多くの来場者に来ていただき、地域を賑やかにしていくための環境整備も進めていけるよう提言をしていきたい。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　７年　７月　２９日		
費　　目	❶ 調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金　　額	１９，６４０円

支出内容	令和７年度第２回市町村長等・議会議員特別セミナー　参加 のための出張旅費

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

様式第４号(第３条関係)

支　払　証　明　書

金　　額　　１９，６４０　　円

(内　訳)

支　　払　　日	令和　７年　　７月　　２９日
支　払　内　容	令和７年度第２回市町村長等・議会議員特別セミナー 参加のための出張旅費
支　　払　　先	名称　田口浩二 住所　津山市上横野３７７
領収書等を徴することができない理由	「津山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」に準じ算出した金額であるため。

上記のとおり支払ったことを証明します。

令和　７年　７月２９日

津山市議会議員　　田口浩二　[redacted]

旅費計算書

議員氏名	田口 浩二
出張先(内容)	滋賀県大津市　全国市町村研修財団全国市町村国際文化研修所(JIAM) (令和7年度第2回市町村長等・議会議員特別セミナー 受講)
出張日	令和7年7月28日～7月29日

日程	行程			交通手段					
月日	乗車地		降車地	鉄道費(JR) 基本	鉄道費(JR) 特急等	私鉄	航空費	バス賃等	モノレール
7月28日	津山	→	岡山	5,170	4,360				
〃	岡山	→	京都						
〃	京都	→	唐崎						
7月29日	唐崎	→	新大阪	960					
〃	新大阪	→	津山					3,150	
		→							
	小計			6,130	4,360	0	0	3,150	0

合計(単位:円)

13,640 (A)

車賃(自家用車)		→			Km				
		→			Km				
	小計			0	Km	×20円 (1Kmあたりの単価)	=	0	円

合計(単位:円)

0 (B)

交通費		(A)＋(B) ＝ 13,640 円
宿泊料		14,800 円× 0 日＝ 0 円
日当	県外	3,000 円× 2 日＝ 6,000 円
	県内	1,700 円× 0 日＝ 0 円
合計		19,640 円

上記出張における旅費計上額　**19,640 円**

（参考様式２）

令和　７年　　７月　２９日

出　張　等　報　告　書

津山市議会議員　　田口浩二

出張日／受講日	令和　７年　７月２８日　～　令和　７年　７月２９日
種　　別	□調査研究・視察　□要請・陳情　■研修会（オンラインを含む）　□各種会議
出　張　先	全国市町村国際文化研修所
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	令和７年度第２回市町村長等・議会議員特別セミナー
応対者／講師名	神戸市長　　久本善造氏 文芸評論家　三宅香帆氏 小説家　　宮島未奈氏 一般財団法人地域活性化センター理事長　林崎　理氏 國學院大學新道文化学部教授　松本久史氏 株式会社 BOOK 代表取締役　樋口聖典氏
目　　的	防災に対する諸課題と議会・議員の役割について学ぶ
概　　要	スケジュール １日目 13：00～13：15　開講式・日程説明 13：15～14：45　講義　真の意味での持続可能な都市を目指して 15：05～17：05　対談　地域の魅力を引き出す文学の力 17：15～17：50　事務連絡・入寮オリエンテーション 17：50～　　交流会 ２日目 09：00～10：30　講義　明日を生きるために -人文知を地域に生かす-　近世国学から学ぶ 10：50～12：20　講義　みんながやりたい場所をつくる廃坑利活用施設 「いいかね Palette」の運営について 12：20～12：30　閉講・事務連絡

概　　要	上記スケジュールにより講義を受けた。 １日目は、久本喜造神戸市長より神戸市の取り組みを紹介していただきながら「真の意味での持続可能な都市を目指して」というテーマで講義をいただいた。まず、アンテナを高く他の自治体に学ぶことが大切であると話されたうえで、人口減少に対する対策が必要であり、東京への人口・資金の集中が進めば、国全体として共倒れになる可能性に言及された。東京都における手厚い子供。子育て支援、高等学校の授業料無償化、幅広い人材獲得などは東京都へ人を集めるためのものであるとの批判をされ、多極分散型社会への移行が必要であるとの見解を述べられた。都心部においては、老朽化マンションの増加が問題となるであろうとの予測から、都心部・郊外既成市街地・森林里山の再生が必要であり、具体例として、人口集中の抑制、空き家対策、林業の諸説を例に挙げられた。続けて、「地域の魅力を引き出す文学の力」と題する三宅香帆氏と宮島未奈氏の対談となったが、宮島氏が執筆された作品に関しての対談であったため、拝読していない身の者には内容が理解しがたいものであった。ただ、ヒット作品によって地域に日があたり、地域が活性化していく一つの事例としては参考としたい。 今回は、北は岩手県から南は沖縄県まで総勢 112 名が参加されており、講義終了後には、他の自治体より参集した議員と意見交換をしながら懇親を深めた。 ２日目は、國學院大學松本久史教授より「明日を生きるために-人文知を地域に生かす-近世国学から学ぶ」と題した講義は、国学・国学者とは何かとの説明から始まり、著名な国学者の歴史を説明いただきながら日本固有の歴史や信仰・倫理道徳並びに独自性や普遍性についての知識を地域の課題解決に生かすための事例紹介、日本遺産の選定や文化財保護法の改定による文化財の利活用での地域振興についての講義であった。続けて、一般財団法人地域活性化センター林崎理理事長よりセンターの活動について説明いただいた。最後に、株式会社 BOOK 樋口聖典代表取締役より「みんながやりたい場所を作る廃坑利用施設「いいかね Palette」の運営について」と題した事例紹介をいただいた。企業の設立コンセプトは「自由な世界を作る。」ということで、現在 300～600 の廃校が１年間に発生している。この原因は、過疎化・都市化・高齢化による児童生徒の減少であり、平成１６年から令和５年までに８，８５０校が廃校となり、そのうち１，９５１校が利活用されていない。この現状から、廃校となった施設を自由な発想のもとで活用し、地域の拠点となっていく過程を失敗談を含めて紹介いただいた。事業の成功の要因として、地域における継続した営みの結果であり、やるべきことを確実に実施したことによる信頼の蓄積と未来への期待であると分析された。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	今回受講した事例について、本市においても共通の部分があると感じる。人口減少は、継続していくであろうが、メディアの活用や地域の歴史を掘り起こし地域振興に尽力していきたい。併せて、活用可能な公共施設の利用方法についても研究し、本市の発展に寄与したい。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　７年　１０月　８日		
費　　目	❶ 調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	７９，８１０円

支出内容	能登半島地震・豪雨被災地 ㈱和倉ダスキン 金沢市重伝建（東町ひがし地区・主計町地区）視察のための出張旅費

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

様式第４号(第３条関係)

支　払　証　明　書

金　　額　　７９，８１０　　円

(内　訳)

支　　払　　日	令和　７年　　１０月　　８日
支　払　内　容	能登半島地震・豪雨による被災地 ㈱和倉ダスキン 金沢市重伝建（東山ひがし地区・主計町地区）視察のための出張旅費
支　　払　　先	名称　田口浩二 住所　津山市上横野３７７
領収書等を徴することができない理由	「津山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」に準じ算出した金額であるため。

上記のとおり支払ったことを証明します。

令和　７年１０月　８日

津山市議会議員　　田口浩二　[redacted]

旅費計算書

議員氏名	田口 浩二
出張先(内容)	輪島市、珠洲市、能登町、穴水町 （能登半島地震の復興について 視察） 七尾市 （和倉ダスキン 視察） 金沢市 （東山ひがし伝統的建造物群保存地区 視察）
出張日	令和7年10月6日～10月8日

日程	行程			交通手段					
月日	乗車地		降車地	鉄道費(JR) 基本	鉄道費(JR) 特急等	私鉄	航空費	バス賃等	モノレール
10月6日	津山	→	岡山						
〃	岡山	→	新大阪	8,360	3,380				
〃	新大阪	→	金沢		4,570				
〃	金沢	→	輪島					2,300	
10月7日	輪島	→	のと里山空港					590	
〃	のと里山空港	→	珠洲市役所					1,290	
〃	珠洲市役所	→	柳田天坂					800	
〃	柳田天坂		能登町役場					380	
〃	能登町役場		穴水					1,130	
〃	穴水	→	和倉温泉			690			
〃	和倉温泉	→	金沢	1,410					
10月8日	金沢	→	新大阪		4,570				
〃	新大阪	→	岡山	8,360	3,380				
〃	岡山	→	津山						
	小計			18,130	15,900	690	0	6,490	0

合計(単位:円)

41,210 (A)

車賃(自家用車)									
		→			Km				
		→			Km				
	小計			0	Km	×20円 (1Kmあたりの単価)	=	0	円

合計(単位:円)

0 (B)

交通費		(A)＋(B) ＝	41,210 円
宿泊料		14,800 円× 2 日＝	29,600 円
日当	県外	3,000 円× 3 日＝	9,000 円
	県内	1,700 円× 日＝	0 円
合計			79,810 円

上記出張における旅費計上額 **79,810 円**

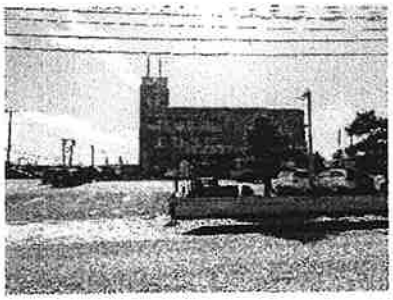
（参考様式２）

令和　７年　１０月　　８日

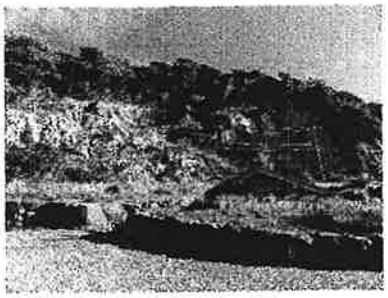
出　張　等　報　告　書

津山市議会議員　　田口浩二

出張日／受講日	令和　７年１０月　６日　～　令和　７年１０月　８日
種　　別	■調査研究・視察　□要請・陳情　□研修会（オンラインを含む）　□各種会議
出　張　先	石川県
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	能登半島地震・豪雨による被災地 ㈱和倉ダスキン 金沢市重伝建（東山ひがし地区・主計町（かずえまち）地区）　視察
応対者／講師名	㈱大島組　常務取締役 認定 NPO 法人　難民を助ける会　国内災害チーム 輪島市議会議員　門前　徹
目　　的	災害・津山市内企業の技術・重伝建について学ぶ
概　　要	能登半島の地震発生より１年９か月が経過し、豪雨災害の発生からも約１年が経過している時点で、被災の状況・復興の状況を視察するとともに、発災時における状況を知り、その対応と今後の復興について学ぶために能登半島海岸線を中心に現地確認をした。輪島市では、NPO 法人の国内災害チームの方と輪島市議会議員の門前氏より発災当時の状況を教授いただいた。 ㈱和倉ダスキンでは、津山市の企業である㈱マクライフの幕天井が施工中とのことであったので、施工業者である㈱大島組の常務取締役に現地を案内いただき、採用に至った経緯や施工状況を見学させていただいた。 金沢市では、重伝建である東山ひがし地区と主計町地区を見学した。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	被災の状況は予想よりはるかにひどい状況であり、多くの仮設住宅での生活を余儀なくされているのを見て、減災・防災の重要性を認識するとともに幕天井による被害の減少を期待し、一日も早い復興を願う。 重伝建には多くの観光客が訪れており、観光資産としての価値を再認識した。 本市は、比較的災害の少ない地域ではあるが、被災時に慌てることの無いよう対策を講じておく必要がある。重伝建についても整備を進め、訪れる観光客に好印象を与えられるようにしていきたい。

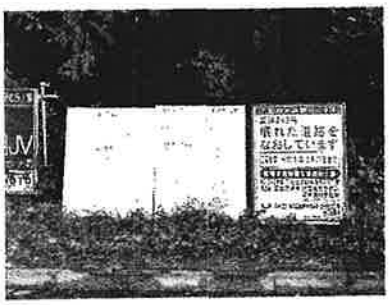
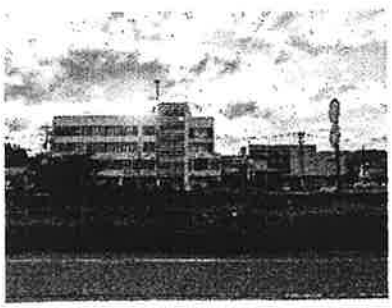
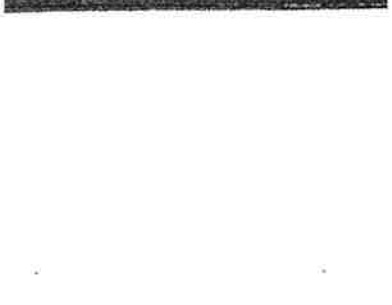
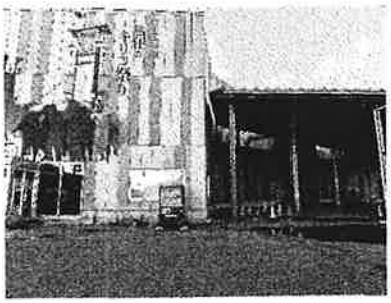


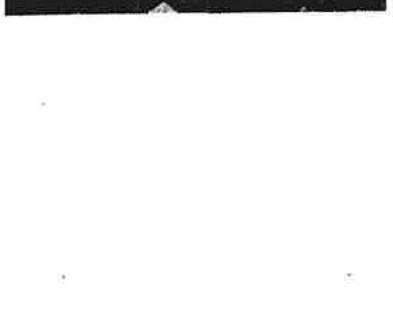


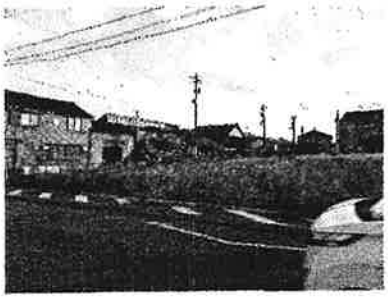
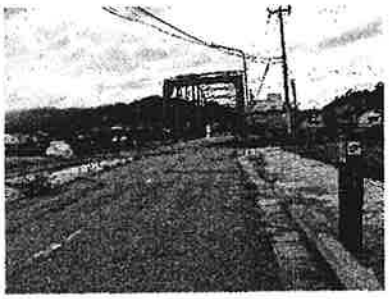






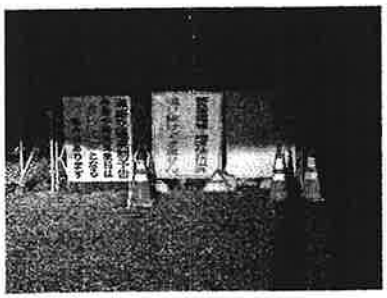



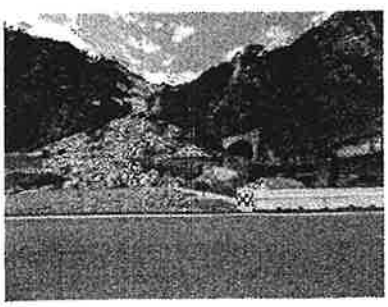





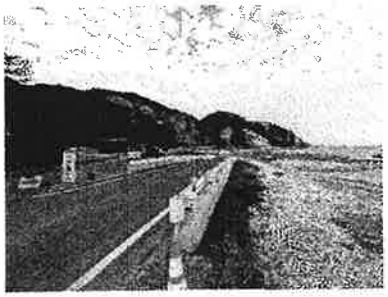
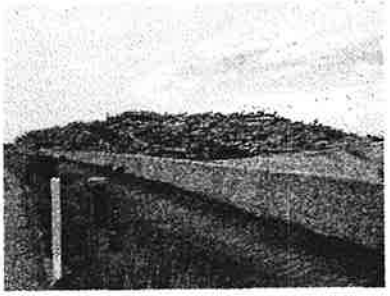
ご協力をお願いします
公費解体中
開閉等 8:00~17:00

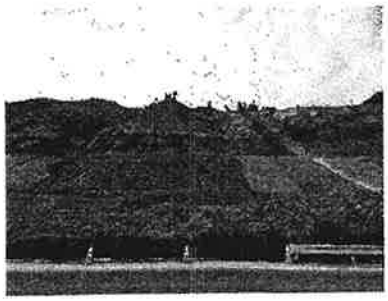


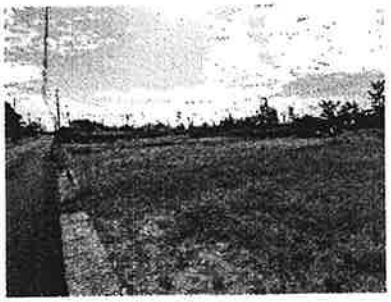







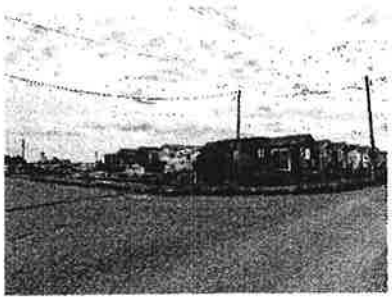



共同溝合公園


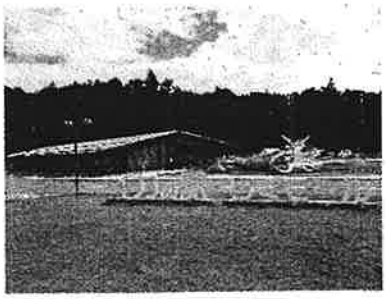




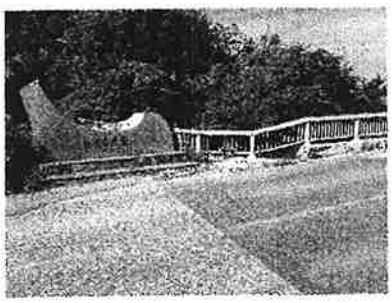








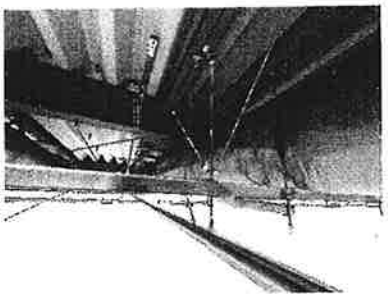
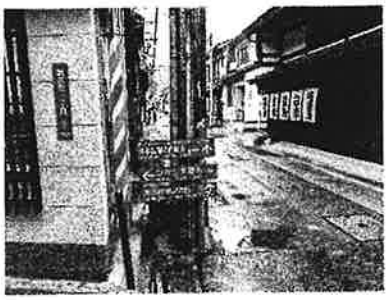



令和6年1月1日能登半島地震に
よる災害からの復興のため、
海岸堤防の復旧工事を行っています。
令和6年12月26日～令和7年11月28日
特定災害復旧事業 石川金地海岸地区
石崎海岸（石崎地区）堤防復旧工事
北陸農政局
土地改良調査管理所
電話：076-232-7900

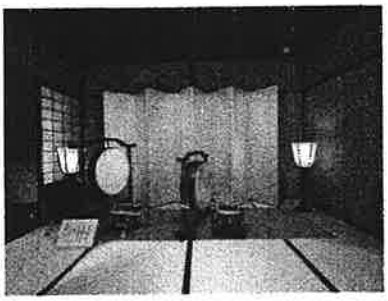
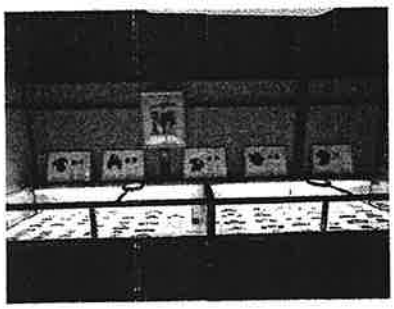


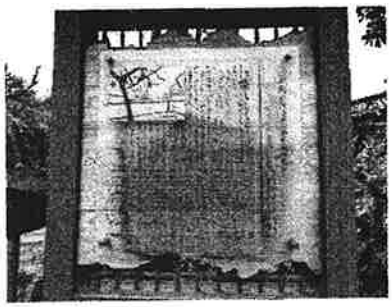






様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　７年　１１月　９日		
費　　目	①　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金　　額	５７，０００円

支出内容	全国地方議会サミット2025　参加のための出張旅費

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

様式第４号(第３条関係)

支　払　証　明　書

金　　額　　５７，０００　　円

(内　訳)

支　　払　　日	令和　７年　　１１月　　９日
支　払　内　容	全国地方議会サミット２０２５　参加のための出張旅費
支　　払　　先	名称　田口浩二 住所　津山市上横野３７７
領収書等を徴することができない理由	「津山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」に準じ算出した金額であるため。

上記のとおり支払ったことを証明します。

令和　７年１１月　９日

津山市議会議員　　田口浩二　[redacted]

旅費計算書

議員氏名	田口 浩二
出張先(内容)	東京 （全国地方議会サミット 参加）
出 張 日	令和7年11月8日～11月9日

日程	行程			交通手段					
月 日	乗車地		降車地	鉄道費(JR) 基本	鉄道費(JR) 特急等	私鉄	航空費	バス賃等	モノレール
11月8日	津山	→	岡山						
〃	岡山	→	東京	11,000	7,100				
〃	東京	→	飯田橋						
11月9日	飯田橋	→	東京						
〃	東京	→	岡山	11,000	7,100				
〃	岡山	→	津山						
		→							
		→							
		→							
		→							
	小 計			22,000	14,200	0	0	0	0

合計(単位:円)

36,200 (A)

車賃 (自家用車)		→			Km				
		→			Km				
	小 計			0	Km	×20円 (1Kmあたりの単価)	=	0	円

合計(単位:円)

0 (B)

交通費		(A)＋(B) ＝	36,200 円
宿泊料		14,800 円× 1 日＝	14,800 円
日当	県外	3,000 円× 2 日＝	6,000 円
	県内	1,700 円× 日＝	0 円
合計			57,000 円

上記出張における旅費計上額 **57,000** 円

（参考様式２）

令和　　７年　１１月　　９日

出　張　等　報　告　書

津山市議会議員　　田口浩二

出張日／受講日	令和　７年１１月　８日　～　令和　７年１１月　９日
種　　別	□調査研究・視察　□要請・陳情　■研修会（オンラインを含む）　□各種会議
出　張　先	法政大学　市谷キャンパス
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	全国地方議会サミット2025
対応者／講師名	早稲田大学名誉教授　北川　正恭　氏 大正大学社会共生学部教授　江藤　俊昭　氏 法政大学法学部政治学科教授　廣瀬　克哉　氏 福島学院大学地域マネジメント学科教授　高　　選圭　氏 拓殖大学政経学部教授　河村　和徳　氏 日本大学法学部公共政策学科教授　林　　紀行　氏 法政大学社会学部メディア社会学科准教授　大森　翔子　氏 （公財）日本生産性本部上席研究員　千葉　茂明　氏 西日本新聞論説委員　前田　隆夫　氏 （株）JX通信社代表取締役　米重　克洋　氏 早稲田大学デモクラシー創造研究所招聘研究員　山内　健輔　氏 ＮＰＯ法人ＤＡＫＫＯ理事　田口　優斗　氏 埼玉県富士見市議会議長　勝山　　祥　氏 島根県浜田市議会副議長　笹田　　卓　氏 岩手県一関市議会議長　勝浦　伸行　氏 神奈川県横須賀市議会政策検討会議委員長　高橋　英昭　氏 鹿児島県知名町議会議長　外山　利章　氏
目　　的	SNS・AI・DX・主権者教育・議会改革について学ぶ

概　　要	１１月８日 基調講演　「炎上の時代」の政治コミュニケーション 14：10～14：35　廣瀬克哉氏 事例報告　インフレとメディアシフトが起こす日本政治の地殻変動 14：35～14：50　米重克洋氏 事例報告　SNS が有権者に与える影響 14：50～15：10　大森翔子氏 セッション　SNS と地方議会 民意はどうできていくのか？SNS の影響と地方議会の方向性 15：10～15：45　廣瀬克哉氏 米重克洋氏 大森翔子氏 休憩 セッション　AI と地方議会 活性化？不要？AI で議会はどう変わる？世界と日本の今と未来 16：00～17：20　高　選圭氏 河村和徳氏 休憩 発表　議会改革のトレンドと注目議会 ～地域経営のための議会改革度調査から～ 17：30～17：55　山内健輔氏 １１月９日 事例発表　地方議会の政策づくり 実践編①　子ども・若者との政策づくり 富士高生の主張 in 富士見市議会　勝山　祥氏 主権者教育につながる子供の意見の施策反映　笹田　卓氏 議員との対話で民主主義の担い手を育てる　田口裕斗氏 10：00～11：10 休憩 事例発表　地方議会の政策づくり 実践編②　議会による政策づくり 「政策提言等の実施に関する指針」の策定と実践　勝浦伸行氏 政策形成サイクルの実践と実例紹介　高橋英昭氏 各常任委員会による町民起点の政策提言　外山利章氏 11：20～12：30 休憩

概　　要	セッション　議会改革と北川正恭。足跡を再検証する 13：30～14：20　　江藤俊昭氏 廣瀬克哉氏 前田隆夫氏 千葉茂明氏 LM 最終講義 14：20～14：50　　北川正恭氏
概　　要	今年は、会場を法政大学市谷キャンパスに移し、全国地方議会サミットが開催された。前述のプログラムに従い講演並びにセッションテーマに基づいた取り組み事例等を聴かせていただいた。 １１月８日は、まず、法政大学廣瀬教授より、「「炎上の時代」の政治コミュニケーション」と題した基調講演を拝聴した。講演の中で SNS には炎上を自動的に増幅させるアルゴリズムがあるので、情報の届け先が誰かを明確にすることが重要であり、観衆に対してメッセージを届けることを心掛けるべきであるとまとめられた。つづけて、米重氏より事例報告を受けた。若い世代の自民党離れを分析され、情報収取の手段の変化が SNS に傾いてきたことで情報の信頼性の変化が顕著となっている。選挙に対しても影響が表れているとのことであった。次に、大森教授からは SNS が有権者に注目されるのは偶然であり、出会うタイミングによって印象が左右されかねない。投票行動に影響するのは政策フレームより戦略フレームであるとのことであった。この構造は、有権者の政治家に対する信頼度を低下させ、長期的には政治不信を強める恐れがあるとのことである。続けて行われたパネルディスカッションでは、「民意はどうできていくのか？SNS の影響と地方議会の方向性」について議論を深めた。「炎上」には下地があり、特定の少数者からの発信が拡大している。政治の炎上は世直しと受け取る傾向がある。そこで、重要となってくるのはバランスの取れたエンゲージメントを高めることであり、正確な情報を SNS 上に蓄積していくことである。始めの一歩は１分程度の短い動画とすることが良いのではないかとまとめられた。 第２セッションとして、「AI 時代の地方議会の変化と課題」と題して、高教授より説明いただきながら、「活性化？不要？AI で議会はどう変わる？世界と日本の今と未来」について河村教授と議論を深めた。説明では、海外での多くの事例を紹介される中、AI 活用の目的として予算の効率的な執行、行政事業に関する情報収集等を挙げられ、データの共有により全分野に関与できるようになる優位性を唱えられた。加えて、活動を自動化するシステムを作ることが重要で、既に、デジタルを使う使わないの選択時期ではない。

概　　要	とおっしゃられた。デジタルを活用することにより、新人議員が任期スタートから議会活動ができるようになり、ベテランと新人の格差を無くなれば住民の利益につながるとも言われた。執行部の持つ情報をすべてAIに読ませることで議会がすべてのデータにアクセスできるようになり、執行部に依存する部分が少なくなれば、議員の活動領域も広がり、住民の行政・議会に対する満足度の向上も図れる。とのことである。河村教授によれば、日本の選挙制度はアナログであり、デジタルに対する信頼が低いとの指摘があった。 本日最後の発表は、「議会改革のトレンドと注目議会～地域経営のための議会改革度調査から～」と題し、山内氏から議会改革度調査の結果をもとに各議会の取り組みを紹介された。 １１月９日最初のセッションは、「子ども・若者との政策づくり」をテーマに、まず、富士見市議会勝山議長より「富士高生の主張 in 富士見市議会」の取り組みについて説明いただいた。総合的な探求の時間を使って、STEP1として出前講座を開催し校内の有志生徒を募集し、STEP2 市政に関するテーマ研究を行い、STEP3 議場で発表するという手順で実施され、効果は多くの生徒が参加し学年を超えて主権者教育ができるということであった。続けて、浜田市議会笹田副議長より「主権者教育につながる子供の意見の施策反映」について説明いただいた。はまだ市民一日議会で出た発言を実現させる取り組みと小中学校の議場見学についての説明だった。意見を施策に反映することで政治に興味を持ち、政治参加意識の向上を図る取り組みであった。最後の発表は、NPO法人DAKKOの田口理事から「議員との対話で民主主義の担い手を育てる」取り組みについて説明いただいた。可児市議会での高校生議会に参加したことで主権者教育にかかわるようになったとのことであり、まちづくり提案や独自のボードゲームを使って議員と交流し政治に興味を持ってもらう活動をされているとのことだった。 続けてのセッションは、「議会による政策づくり」をテーマに、まず、知名町議会外山議長より「各常任委員会による町民起点の政策提言」について説明いただいた。町民の声を提言に帰るプロセスを説明していただき、実現できた施策についての説明もあった。政策サイクルとして継続させる議会運営を行うことを目指しているとのことである。続けて、一関市議会勝浦議長より「「政策提言等の実施に関する指針」の策定と実践」の取り組みについて説明いただいた。議会基本条例に基づき政策提言等の実施に関する指針を策定され決議を市長に対して手交したとのことで、追跡調査を今後行っていくとのことである。最後に、横須賀市議会政策検討会議高橋委員長より「政策形成サイクルの実践と実例紹介」について説明いただいた。実例紹介としてゴミ屋敷対策条例制定を取り上げられ、検証と改善についてまで説明いただいた。 「議会改革と北川正恭。足跡を再検証する」では、江藤教授・廣瀬教授・

概　　要	前田論説委員にこれまでの北川教授の活動について振り返りをしていただいた。廣瀬教授は、事務事業評価の導入・マニフェスト運動の開始などに触れられマニフェストをどのように機関として実現された功績は大きなものであった。マニフェスト大賞にも大きな功績があったと述べられた。前田論説委員は、取材者の立場から社会に与えた影響について述べられた。社会を動かす巧みな言葉の使い手であった。（ex.「お願いから約束へ」、「あれもこれもからあれかこれか」、「立ち位置を変えよ」）大きな改革を前提に個々の改革を唱えた。（ex.「地方から国を変える」）ノーからではなくイエスから始める。さあ皆さん一緒にやっていきましょう。この姿勢が人を引き付けたのではないか。との印象がある。江藤教授は、マニフェスト運動を議員まで展開していくことで住民自治の推進に取組まれた。議会改革を進め、政策サイクルの制定・充実・強化にも取組まれてきた。その結果として住民福祉の向上につながってきたと述べられた。 最後は、北川教授自身より三重県議会議員から現在に至るまでを振り返ると、政治改革に没頭する中で、集権国家から分権国家に変えないと成熟国家にはなれないという通底する考えがずっとあった。１９９３年に地方分権改革を推進する決議が衆参両院で全会一致で通った、１９９５年に地方分権推進法ができ、１９９９年に分権一括法が成立し、地方分権改革の中で国からの機関委任事務が全廃された。これが大きな転換期になった。議会から改革するのが民主主義である。議会の役割は民意の反映なので、民意の反映を的確にするためには議員個人では限界がある。墨田区議会議会基本条例を例に、チーム議会として議会と議会事務局が協力することで、機関としての議会が出来上がる。マニフェスト選挙を実施した結果、執行部の役人は知事のマニフェストを全て読み込んでいた。これこそ自治である。新しい時代は自分たちで創っていく。地方自治を変えてくれることを期待する。と締めくくられた。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	今回も先進的な取り組みを進めている自治体について学ぶ良い機会であった。民意が形成されていくうえでSNSがどのように作用するのか参考になった。AIが韓国でどのように活用されているのかについても学ぶことができた。今後のDX導入の一助としたい。主権者教育及び議会からの政策提言についても積極的に取り組んでいきたい。北川先生の最終講義を胸に刻み住民福祉の増進に尽力したい。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　７年　　１１月　　２９日		
費　　目	①　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	４，９２０円

支出内容	岡山イノベーションコンテスト2025　視察のための出張旅費

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

様式第４号(第３条関係)

支　払　証　明　書

金　　額　　４，９２０　　円

(内　訳)

支　　払　　日	令和　７年　　１１月　　２９日
支　払　内　容	岡山イノベーションコンテスト2025　視察のための出張旅費
支　　払　　先	名称　田口浩二 住所　津山市上横野３７７
領収書等を徴することができない理由	「津山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」に準じ算出した金額であるため。

上記のとおり支払ったことを証明します。

令和　７年１１月２９日

津山市議会議員　　田口浩二　[redacted]

旅費計算書

議員氏名	田口 浩二
出張先(内容)	倉敷 （岡山イノベーションコンテスト2025 視察）
出 張 日	令和 7年11月29日

日程	行程			交通手段						
月 日	乗車地		降車地	鉄道費(JR) 基本	鉄道費(JR) 特急等	私鉄	航空費	バス賃等	モノレール	
		→								
		→								
		→								
		→								
		→								
		→								
		→								
		→								
		→								
		→								
	小 計			0	0	0	0	0	0	

合計(単位:円)

0	(A)

車賃 (自家用車)									
	自宅	→	倉敷	80.9	Km				
	倉敷	→	自宅	80.9	Km				
	小 計			161	Km	×20円 (1Kmあたりの単価)	＝	3,220	円

合計(単位:円)

3,220	(B)

交通費		(A)＋(B) ＝	3,220 円
宿泊料		14,800 円× 日＝	0 円
日当	県外	3,000 円× 日＝	0 円
	県内	1,700 円× 1 日＝	1,700 円
合計			4,920 円

上記出張における旅費計上額 **4,920** 円

（参考様式２）

令和　　７年　１１月　２９日

出　張　等　報　告　書

津山市議会議員　　田口浩二

出張日／受講日	令和　７年１１月２９日
種　　別	■調査研究・視察　□要請・陳情　□研修会（オンラインを含む）　□各種会議
出　張　先	倉敷市民会館
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	岡山イノベーションコンテスト 2025
応対者／講師名	主催：中国銀行・山陽新聞社・公益財団法人サンマルク財団
目　　的	新規事業についての知見を深める
概　　要	本年は倉敷市民会館での開催であった。本事業は２０１７年より開催されている事業で、岡山・備後の地から次代を担う起業家や起業家精神を持った人材を発掘、育成、表彰することで岡山県内の操業機運を高めようとするプロジェクトである。この度は、応募総数９４件のうちから２次審査を通過したビジネスプラン部門中学・高校生の部から３組、大学・専門学生の部から３組、一般の部から３組、ビジネス部門３組の計１２組ファイナリストによるプレゼンテーションがあった。グランプリには養鶏から始まる資源循環と風景づくりに取り組む株式会社点々（岡山県西粟倉村）が輝いた。ビジネスプラン部門中学・高校生の部では、遺伝学をカードゲームで楽しめる「GENETIC　POKER」を開発した岡山県立岡山操山高等学校生が、大学・専門学生の部では、酵母にたんぱく質を作らせ安価に代替肉を生産する技術を確立させた岡山大学大学院生が、一般の部では、中古車をリファービッシュしたうえで資源循環させる仕組みを提案した ReAxel　Technologies が、ビジネス部門では、遊休施設で陸上養殖を商業レベルで成功させている mizuhachi 株式会社がそれぞれ部門賞を受賞した。特別賞として、サンマルク賞にはすい臓がんの新薬開発、審査員特別賞にはスマホで育てた鶏から本物の卵が届くサービスの運営が選ばれた。今年から新設されたオーディエンス賞にはグランプリを受賞した養鶏から始まる資源循環と風景づくりの取組が重複して選ばれた。

概　　要	基調講演では、株式会社陽と人代表取締役より「新たな視点で地域資源を価値化する」として、福島での経験をもとに地域産業の創出、ゼブラ企業についての講演があり、今後の地方の可能性について話された。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	今回も新技術、発想などを知る貴重な機会であった。本市において起業家や起業家精神を持つ人材の創出を進めていきたい。株式会社陽と人代表取締役の基調講演の中にあった地域産業の在り方については、今後の地域活性化に大変参考となるものであった。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

（参考様式1）

（　　7年度）

費目別一覧表

費目名　研修費、会議費

年月日	支出内容	支出額	備　考
7. 5.15	研修会参加費	11,000円	第16回日本自治創造学会研究大会
7. 5.15	研究会年会費	2,000円	日本自治創造学会年会費
7. 7.18	研修会参加費	4,900円	令和7年度第2回市町村長等・議会議員特別セミナー
7. 9. 3	研修会参加費	15,000円	全国地方議会サミット2025
7. 12. 2	研究会年会費	3,000円	ローカルマニフェスト推進連盟年会費
合　計		35,900円	

※ 費目ごとに各支出伝票を整理し、その表紙としてご活用ください。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　７年　５月　１５日		
費　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 ②　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金　額	１１，０００円

支出内容	第１７回日本自治創造学会研究大会　参加費

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収証　　田口浩二　様　No. 175

金額　¥11000

但　第17回　日本自治創造学会研究大会　参加費

2025年　5月　15日　上記正に領収いたしました

内　訳

税抜金額

消費税額等(　%)

一般財団法人
日本自治創造学会
理事長　穂坂邦
東京都千代田区神田佐久間町2-22-3

コクヨ　ウケ-695

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　7年　5月　15日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 ②　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	2，000円

支出内容	日本自治創造学会　2025年度　年会費

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収証　　田口 浩二　様　No. 176

金額

¥2000

但　日本自治創造学会 2025年度 年会費

2025年 5月 15日 上記正に領収いたしました

内訳

税抜金額

消費税額等(　%)

一般財団法人
日本自治創造学会
理事長 穂坂邦
東京都千代田区神田佐久間町2-24-801

コクヨ　ウケ-695

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　７年　７月　１８日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 ②　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	４，９００円

支出内容	令和７年度第２回市町村長等・議会議員特別セミナー 参加費

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領 収 書

津山市議会　田口　浩二　　様

金額　　4,900　　円

但し、　令和7年度第2回市町村長等・議会議員特別セミナー

の　研修に要する経費(食費を除く)

として上記の金額を領収いたしました。

令和7年7月18日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役 [redacted]

領収書No. 245

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　７年　９月　３日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 ②　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	１５，０００円

支出内容	全国地方議会サミット２０２５　参加費

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書 - 全国地方議会サミット2025

発行日	2025年9月3日	
宛名	田口浩二	
合計	小計（10%対象）	¥13,636
	消費税 (10%)	¥1,364
	合計	**¥15,000**
但し	全国地方議会サミット2025参加費	
申込日	2025年9月3日	
注文番号	[redacted]	
イベント名	全国地方議会サミット2025	
開催日	2025年11月8日 - 2025年11月9日	
主催者	一般社団法人マニフェスト研究会 〒186-0004 東京都 国立市中 1-7-41 **登録番号:** T6010005021324	

Peatix

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　７年　１２月　２日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 ②　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金　　額	３，０００円

支出内容	ローカルマニフェスト推進連盟２０２５年度年会費

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

2025年12月2日

領収書

田口浩二様

3,000円

但　ローカル・マニフェスト推進連盟2025年度年会費（課税対象外）
（会期：2025年7月1日から2026年3月31日）として



一般社団法人マニフェスト研究会
登録番号 T6010005021324
〒186-0004 東京都国立市 中 1-7-41
TEL：050-8894-0671

（参考様式1）

（　　7年度）

費目別一覧表

費目名　広報費

年月日	支出内容	支出額	備　考
7. 4. 1	印刷製本費	9,530円	議会NEWS vol.40　5,000部
7. 4. 1	印刷製本費	4,210円	議会NEWS vol.40　1,100部　Z折り
7. 4.11	郵送費	110,178円	議会NEWS vol.40
7. 4.24	新聞折込費	14,850円	議会NEWS vol.40　4,500部
7.10. 3	印刷製本費	5,520円	議会NEWS vol.41・42　1,600部　Z折り
7.10. 7	封筒購入費	23,980円	
7.10.15	郵送費	109,520円	議会NEWS vol.41・42
7.12.16	印刷製本費	3,450円	議会NEWS vol.43　1,500部　Z折り
8. 1. 5	郵送費	109,012円	議会NEWS vol.43
合　計		390,250円	

※ 費目ごとに各支出伝票を整理し、その表紙としてご活用ください。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　７年　　４月　　１日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 ③　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	９，５３０円

支出内容	印刷製本費 議会 NEWS vol.40　5,000 部

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書

2025年04月01日

田口浩二　様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
下記の金額正に領収いたしました。
何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社プリントパック
〒617-0003
京都府向日市森本町野田3-1
TEL 0120-977-920
FAX 075-935-6890

お支払条件　クレジットカード　　納品場所　ご指定場所

御請求金額　9,530円（税込）　　納品期日　7営業日

ご注文番号	内　　容	数量	単 価	金 額
[redacted]	品名：市政報告ver40b A4 / 片面4色 / コート90 / 5,000部×1種類 / 加工1：トンボ仕上がり断裁（ご注文サイズでお納め） 加工2：	1	9,530	9,530
合　計				9,530

特記事項

※クレジットカード決済の場合には、金銭または有価証券の受領事実がありませんので、表題が「領収書」となっていても、
印紙税法基本通達第17号の1文書には該当しません。
※5万円を超えていても収入印紙は貼付されません。

2025年　4月

田口浩二
市政報告 Vol.40
〒708-0801
岡山県津山市上横野３７７
電話 090-3172-7938
FAX (0868)27-3701

議会 NEWS

スマート窓口化に向けた予算を確保

３月定例議会が２月25日から３月18日までの22日間開催

主な議決事項

令和７年度
一般会計予算　５３，１０４，０００千円

特別会計予算（８件）　２２，４０５，２２２千円

財産区会計予算（６件）　３１，５０８千円

事業会計予算（３件）　１４，９４３，３６６千円

令和６年度
一般会計第５次補正予算　４１６，４０４千円　増額

一般会計第６次補正予算　７７０，１４０千円　増額

磯野計記念奨学金特別会計第１次補正予算　９５千円　増額

国民健康保険特別会計第３次補正予算　８６，７７３千円　贈額

奨学金特別会計第１次補正予算　１，４２８千円　減額

介護保険特別会計第３次補正予算　３５３，９６９千円　増額

後期高齢者医療特別会計第３次補正予算
１１２，２１８千円　減額

土地開発公社清算事業特別会計第３次補正予算　４３千円　増額

道事業会計第３次補正予算　４８０，７４９千円　減額

水道事業会計第２次補正予算　２７，３７２千円　減額

他　条例案　15件　人事案　３件　陳情　３件　その他　14件

市長・副市長・教育長の報酬をそれぞれ30%・15%・10%削減する条例案が上程されましたが、賛成６・反対18により否決されました。

津山市議会広報調査特別委員会より中間報告として、２年間の活動報告並びに後期への要望がなされました。市議会便りでは、高校生が撮影した写真を表紙に採用してきたこと、２次元コードを活用し、詳細な情報提供に努めたこと、クイズを掲載することによって意見・感想が寄せられたこと等が報告され、紙面の構成や新たな情報発信の手段親近感を持たせる取組等について引き続き調査・研究することが求められました。

津山市議会活性化調査特別委員会からも同様に中間報告がなされました。出前懇談会の実施、委員会視察並びに会派視察の報告書の公開を決定、委員会議事録の公開を決定、オンラインで委員会を開催したことの報告がありました。

ホームページもご覧ください。[redacted]

国際交流


林市長と


赤十字会会長と

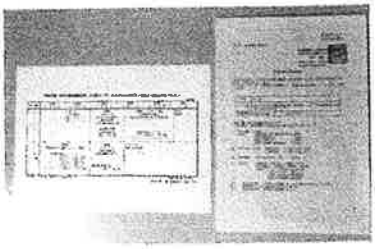

議長・議員と


パレード出発

彰化市長のご招待で、古城パレードに参加させていただきました。

彰化市を訪れ、市長並びに議会を表敬訪問し、さらなる友好関係の構築をお願いして参りました。併せて、直接市長に津山市内の企業が持つ先進的な技術の紹介もして参りました。災害の発生時にはいち早く対応してくださる台湾ですので、中華民国赤十字会台湾省彰化県支会の会長にもご挨拶をさせていただきました。

視察・研修



自治体財政の分析手法について、より知見を深めるために、全国市町村国際文化研修所において開催された、研修に参加しました。健全な財政運営となるよう監視を続けていきます。

皆様からのご意見をお待ちしています。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　7年　　4月　　1日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 ③ 広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	４，２１０円

支出内容	印刷製本費 議会 NEWS vol.40　1,100 部　Z 折り

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書

2025年04月01日

田口浩二　様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
下記の金額正に領収いたしました。
何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社プリントパック
〒617-0003
京都府向日市森本町野田3-1
TEL 0120-977-920
FAX 075-935-6890

お支払条件　クレジットカード　　納品場所　ご指定場所

御請求金額　4,210円（税込）　　納品期日　7営業日

ご注文番号	内　　容	数量	単 価	金 額
[redacted]	品名：市政報告ver40a A4 / 片面4色 / コート90 / 1,100部×1種類 / 加工1：Z折り 加工2：	1	4,210	4,210
合　計				4,210

特記事項

※クレジットカード決済の場合には、金銭または有価証券の受領事実がありませんので、表題が「領収書」となっていても、印紙税法基本通達第17号の1文書には該当しません。
※5万円を超えていても収入印紙は貼付されません。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　７年　４月　１１日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 ③ 広報費　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金　　額	１１０，１７８円

支出内容	郵送代 議会 NEWS vol.40

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

（参考様式４）

領収書貼付票（費目：広報費　　）

領収書

田口浩二　様

［別納引受］

区内特別基（定）		11.5g
@96	883通	¥84,768
小　計		¥84,768
第一種定形		11.5g
@110	231通	¥25,410
小　計		¥25,410
郵便物引受合計通数		1,114通
課税計(10%)		¥110,178
(内消費税等(10%)		¥10,016)
非課税計		¥0
合計		¥110,178
口計		
お預り　クレジット		¥110,178

〒100-8792　日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町２－３－１
登録番号　T1010001112577
取扱日時：2025年 4月11日 13:03
発行No.250411A1108　端N70箱01
連絡先：津山一宮郵便局
TEL:0868-27-0203

※　領収書は重ならないよう貼り付けること。

※　感熱紙の領収書はコピーしたものを貼り付け、原本は裏面に貼り付けること。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　7年　4月　24日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 ③ 広報費　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	１４，８５０円

支出内容	新聞折込代 議会 NEWS vol.40　4,500 部

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領　収　証　　様　No.

★ ¥14,850-

但　4/15 君の朝日折込 4500

7 年 4 月 24 日　上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	10 %	消費税額等　1350
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

収入印紙

[redacted]

D211R18

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　7年　10月　3日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 ③ 広報費　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	5，520円

支出内容	印刷製本費 議会 NEWS vol.41・42　1,600 部

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書

2025年10月03日

田口浩二　様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
下記の金額正に領収いたしました。
何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社プリントパック
〒617-0003
京都府向日市森本町野田3-1
TEL 0120-977-920
FAX 075-935-6890

お支払条件　クレジットカード　　納品場所　ご指定場所

御請求金額　5,520円（税込）　　納品期日　7営業日

ご注文番号	内　　容	数量	単 価	金 額
[redacted]	品名：市政報告 A4 / 片面4色 / コート90 / 1,600部×1種類 / 加工1 ：Z折り 加工2 ：	1	5,520	5,520
合　計				5,520

特記事項

※クレジットカード決済の場合には、金銭または有価証券の受領事実がありませんので、表題が「領収書」となっていても、
　印紙税法基本通達第17号の1文書には該当しません。
※5万円を超えていても収入印紙は貼付されません。

2025年 10月
田口浩二
市政報告 Vol.41・42
〒708-0801
岡山県津山市上横野３７７
電話 090-3172-7938
FAX (0868)27-3701

議会 NEWS

２年ぶりの一般質問と決算質疑

６月定例議会が６月９日から　７月１日までの２３日間開催

９月定例議会が９月１日から１０月１日までの３１日間開催

主な議決事項

６月定例会　　条例案　２件　人事案　２件　その他　３件

９月定例会

令和７年度
一般会計第１次補正予算　　１，７７６，０４６千円　増額
食肉処理センター特別会計第１次補正予算４，２７０千円　増額
介護保険特別会計第１次補正予算　　４１，８３１千円　増額
下水道事業会計第１次補正予算　　４６７，５２４千円　減額

他　条例案　５件　人事案　１件　その他　３件

決算議案１８件上程

令和６年度		
一般会計決算	歳入	５３，４６９，９８３，９３６円
	歳出	５２，４６３，０２１，４７２円
国民健康保険決算	歳入	９，２５８，４１３，０１０円
	歳出	９，２１７，０３１，７２６円
介護保険決算	歳入	１１，０９５，１４３，７３９円
	歳出	１０，８９７，３７９，５４１円
後期高齢者医療決算	歳入	１，７５８，２９７，７９８円
	歳出	１，７５４，９８２，０４０円
６財産区会計決算	歳入	３３，５５７，４０７円
	歳出	１５，３５６，８９６円
下水道事業会計	歳入	６，５４１，９０３，９２１円
	歳出	７，３９５，９３９，６７０円
水道事業会計決算	歳入	４，４７２，４９６，７４１円
	歳出	５，７００，７５３，９２７円

他

ふるさと納税の内容並びに資金運用について質疑を行いました。令和2年度1億7，776万円、令和3年度2億775万円、令和4年度3億8，587万円、令和5年度8億5，627万円、令和6年度10億9，916万円と順調に増加しておりますが、運用手法には改善が必要と思われました。寄付金の中から返礼品に関する費用を支出するよう、改善を求めていきます。

ホームページもご覧ください。[redacted]

一般質問



質問：教育環境を改善し、避難所としての機能を充実させるために、学校体育館に空調設備を整備すべきではないか

屋内運動場への空調設置は運動の機会を確保する上で有効な対策と認識し、早急に検討すべき課題と考えている。しかしながら、多大な事業費を必要とするため、避難所としての利用も含め、総合的な判断が必要と考える。

質問：国際交流も含め、友好都市等との関係を深める取組みはどうなっているのか

それぞれの自治体とは交流をしており、記念式典への参加も予定している。今後も物産展に参加するなどし、更なる相互理解と交流促進を図っていく。県の動向も注視しながら可能性について研究する。

質問：緊急銃猟の制度が始まったが、有害鳥獣による被害を減少させるための取組みはどうなっているのか

捕獲管理システムを有効活用し、被害額減少に向けた対策を強化していく。緊急銃猟については、研修や訓練を行いながら、ガイドラインに沿って対応していく。地域住民に対しては、追い払いには爆竹での対応をお願いし、希望する町内会には獣類追い払い用の警笛を配布する。

皆様からのご意見をお待ちしています。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　７年　　１０月　　７日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 ③ 広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	２３，９８０円

支出内容	封筒購入費 議会 NEWS　送付用

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

Rakuten

初回領収日：2025年10月07日
発行日：2025年10月10日

領収書

田口浩二　様

23,980円領収しました

但し：伝票印刷製本のコンビニとの取引として

利用情報

注文番号：[redacted]
お支払い方法：クレジットカード

注文日：2025年10月03日
発送日：2025年10月07日

領収者情報

領収者：有限会社　中野製本
登録番号：T7010602006676

店舗名：伝票印刷製本のコンビニ
店舗住所：〒135-0045
東京都 江東区 古石場3-9-2
電話番号：090-6483-0431

注文合計

商品小計	23,991円
クーポン利用	-11円
総合計	**23,980円**
支払い金額	**23,980円**

支払い内訳
クレジットカード　23,980円

課税内訳

10%対象	23,980円
うち10%対象消費税	2,180円

※表示金額は全て税込です
※支払い金額は総合計からポイントを除いた金額です

注文情報

配送情報

配送方法：宅配便

お届け先住所：〒708-0801
岡山県 津山市 上横野377

商品明細

明細種別	商品番号	商品名	数量	単価(税込)	税率	小計(税込)
初回注文	np0315-1000	封筒 パステルカラー封筒 長3 パステル ブルー 80g センター貼 枠入 1000枚 np0315	3	7,997円	10%	23,991円

※表示金額は全て税込です

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　７年　　１０月　　１５日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 ③ 広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	１０９，５２０円

支出内容	郵送代 議会 NEWS vol.41・42

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

（参考様式４）

領収書貼付票（費目：広報費　　）

領収書

田口 浩二　　様

［別納引受］

区内特別基（定）		12.0g
@96	875通	¥84,000
小　計		¥84,000
第一種定形		12.0g
@110	232通	¥25,520
小　計		¥25,520
郵便物引受合計通数		1,107通
課税計（10%）		¥109,520
（内消費税等（10%）		¥9,956）
非課税計		¥0
合計		¥109,520
お預り　クレジット		¥109,520

〒100-8792　日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町２－３－１
登録番号　T1010001112577
取扱日時：2025年10月15日 12:34
発行No.251015A3935　端N70箱01
連絡先：津山一宮郵便局
TEL:0868-27-0203

※　領収書は重ならないよう貼り付けること。

※　感熱紙の領収書はコピーしたものを貼り付け、原本は裏面に貼り付けること。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　７年　　１２月　　１６日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 ❸ 広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	３，４５０円

支出内容	印刷製本費 議会 NEWS vol.43　1,500 部

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書

2025年12月16日

田口浩二　様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
下記の金額正に領収いたしました。
何卒よろしくお願い申し上げます。

株式会社プリントパック
〒617-0003
京都府向日市森本町野田3-1
TEL 0120-977-920
FAX 075-935-6890

お支払条件　クレジットカード

納品場所　ご指定場所

御請求金額　3,450円（税込）

納品期日　7営業日

ご注文番号	内　　容	数量	単 価	金 額
[redacted]	品名：市政報告 A4 / 片面4色 / コート90 / 1,500部×1種類 / 加工1：Z折り キャンペーン(オプション料込み) 加工2：	1	3,450	3,450
合　計				3,450

特記事項

※クレジットカード決済の場合には、金銭または有価証券の受領事実がありませんので、表題が「領収書」となっていても、
印紙税法基本通達第17号の1文書には該当しません。
※5万円を超えていても収入印紙は貼付されません。

2026年 1月
田口浩二
市政報告 Vol.43
〒708-0801
岡山県津山市上横野３７７
電話 090-3172-7938
FAX (0868)27-3701

議会 NEWS

最新の長期財政見通しが公開

12月定例議会が11月25日から12月16日までの22日間開催

主な議決事項

令和６年度決算議案　１８件　認定

令和７年度

一般会計第２次補正予算	２０，２４４千円	増額
一般会計第３次補正予算	１，１５５，１５１千円	増額
一般会計第４次補正予算	１８７，９６３千円	増額
食肉処理センター特別会計第２次補正予算	８，８７６千円	増額
国民健康保険特別会計第１次補正予算	１０，６２３千円	増額
国民健康保険特別会計第２次補正予算	４，０４３千円	増額
介護保険特別会計第２次補正予算	６，２４９千円	減額
介護保険特別会計第３次補正予算	４，０２４千円	増額
後期高齢者医療特別会計第１次補正予算	９，１８４千円	減額
後期高齢者医療特別会計第２次補正予算	１，０１９千円	増額
土地開発公社清算事業特別会計第１次補正予算	８３，０３１千円	増額
下水道事業会計第２次補正予算	９，７２６千円	増額
下水道事業会計第３次補正予算	６，３８８千円	増額
水道事業会計第１次補正予算	１１，６８３千円	減額
水道事業会計第２次補正予算	７，２９９千円	増額

他　条例案　７件　人事案　１件　その他　９件

視察・研修

災害対策について知見を深めるため、能登半島を視察してきました。NPO職員や議員に被災から現在までの状況をお聞きしましたが、復興には程遠い状況でした。一日も早い復興を願います。





ホームページもご覧ください。[redacted]

一般質問



質問：農業振興を図り、意欲ある農業者のために、畑地化促進事業の規制緩和をするべきではないか。

畑地化推進事業により、水稲から高収益作物への移行を進めていきたいと思う。虫食い的な畑地化を防ぐ必要もあるが、農業者の生産意欲の低下や耕作放棄地の増大の懸念もありうるので、津山市農業再生協議会と協議を行うとともに、国や県に対し、要望することも検討したいと思う。

質問：地震に対してより安全な木造住宅としていくために、新耐震基準の建物も耐震補助金の対象とすべきではないか。

旧耐震基準の木造建築物は、新耐震基準のものと比較し、倒壊する割合が3倍以上高くなっているという実態があるので、まずは、旧耐震基準の耐震化を重点的に進める。能登半島地震における国の分析結果等を注視しながら、研究していく。

質問：ガバメントハンターに対する考えは。

クマなどの危険鳥獣に関する専門的な知識を持つ人材の確保・育成は喫緊の課題と認識している。緊急銃猟マニュアルの整備や必要な物資の購入、訓練の実施など、クマが出没した場合には、的確かつ迅速に対応できるよう準備していく。

皆様からのご意見をお待ちしています。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　８年　　１月　　５日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 ③ 広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	１０９，０１２円

支出内容	郵送代 議会 NEWS vol.43

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

（参考様式４）

領収書貼付票（費目：広報費　　）

領収書

田口浩二　　様

［別納引受］
区内特別基（定）　　11.5g
@96　　872通　　¥83,712

小　計　　¥83,712

第一種定形　　11.5g
@110　　230通　　¥25,300

小　計　　¥25,300

郵便物引受合計通数　　1,102通
課税計（10%）　　¥109,012
（内消費税等（10%）　　¥9,910）
非課税計　　¥0

合計　　¥109,012
お預り　クレジット　　¥109,012

〒100-8792　日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町２－３－１
登録番号　T1010001112577
取扱日時：2026年 1月 5日 16:41
発行No. 260105A5295　　端N70箱01
連絡先：津山一宮郵便局
TEL:0868-27-0203

※　領収書は重ならないよう貼り付けること。

※　感熱紙の領収書はコピーしたものを貼り付け、原本は裏面に貼り付けること。

（参考様式1）

（　　6年度）

費目別一覧表

費目名　資料作成費

年月日	支出内容	支出額	備　考
7. 4. 2	事務機器購入費	38,782円	ノートパソコン　155,128÷4=38.782
7. 6.16	消耗品購入費	585円	インク　2,341÷4=585
合　計		39,367円	

※ 費目ごとに各支出伝票を整理し、その表紙としてご活用ください。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　7年　4月　2日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 ⑤　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	38，782円

支出内容	消耗品購入費 ノートパソコン，マウス，SSD　155,128÷4=38,782

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書

No. E 1294266

田口浩二　様

金額	¥	1	5	5	1	2	8

(内消費税 ¥ 14,102 -)

但　ノートパソコン、マウス、SSD代として

※印は軽減税率対象商品

入金日　2025 年 4 月 2 日　上記正に領収いたしました。

内　訳　10%対象 ¥ 155,128 -　(内消費税 ¥ 14,102 -)

8%対象 ¥　(内消費税 ¥　)

非課税他 ¥

受注日	2025年 4月 2日
伝票番号	1536-406-051252

印紙税申告納付につき税務署承認済

お支払の内訳

現金	
カード	¥155,128-
電子マネー・コード決済	
デビット	
商品券	
ショッピングクレジット	
その他 ( )	

群馬県高崎市栄町1-1

株式会社ヤマダデンキ

登録番号：T2070001036729

扱者印

(注)本証に社印及び取扱者印の無いもの又は金額を訂正したものは無効です。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　７年　６月　１６日		
費　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 ⑤　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金　額	５８５円

支出内容	消耗品購入費 インク　2,341÷4=585

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

2025年06月16日

領収証

[redacted] 様

金額 ¥2,341－

但し

消費税等212円含んでおります

発行者

[redacted]

株式会社 エディオン
登録番号：T3240001041231
（作成地）
大阪府大阪市北区中之島二丁目
3番33号

No.301690151
発行店 津山本店
電話番号 0868-26-5111

金種	内訳
現金	0
クレジット	2,341
ギフト券等	0
ポイント	0
他	0

10%対象 ¥2,341
10%対象消費税 ¥212

付けること。

ものを貼り付け、原本は裏面に貼り付けること。

お買上明細書

発行日 2025年06月16日(月) 14:33
店：00133 津山本店
登録番号：T3240001041231
TEL 0868-26-5111
レジ担当者：[redacted]
販売担当者：[redacted]
No. 00133-301-690151 POS：301

プリンタ消耗品
ブラザー
LC115C
4977766715263 1 ¥2,341
（値引きクーポン利用 ¥200）
クーポン
ご利用
ｱﾌﾟﾘｰ200ｴﾝﾋﾞｷ
2800052011621 1 ¥0

（10%対象 ¥2,341）
（10%対象消費税 ¥212）

上記「お買上明細書」の金額はお買上金額を表示するもので、領収金額とは異なる場合がございます。

（参考様式1）

No.1

（　　7年度）

費目別一覧表

費目名　資料購入費

年月日	支出内容	支出額	備　考
7. 4. 2	書籍購入費	3,300円	産直コペル 1年分
7. 4. 2	書籍購入費	4,400円	季刊地域 1年分
7. 4. 2	新聞購買費	19,250円	農村ニュース 1年分
7. 4.16	有料データベース利用料	132,000円	iJUMP基本情報料 1年分
7. 4.28	新聞購買費	3,900円	山陽新聞 4月分
7. 4.28	新聞購買費	2,100円	津山朝日新聞 4月分
7. 5.26	新聞購買費	3,900円	山陽新聞 5月分
7. 5.27	新聞購買費	2,100円	津山朝日新聞 5月分
7. 6.26	新聞購買費	3,900円	山陽新聞 6月分
7. 6.27	新聞購買費	2,100円	津山朝日新聞 6月分
7. 7.18	書籍購入費	11,472円	地方議会人 1年分
7. 7.28	新聞購買費	2,100円	津山朝日新聞 7月分
7. 8.27	新聞購買費	2,100円	津山朝日新聞 8月分
7. 9.29	新聞購買費	2,100円	津山朝日新聞 9月分
7.10.27	新聞購買費	3,900円	山陽新聞 10月分
7.10.27	新聞購買費	2,100円	津山朝日新聞 10月分
7.11.26	新聞購買費	3,900円	山陽新聞 11月分
7.11.27	新聞購買費	2,100円	津山朝日新聞 11月分
7.12.26	新聞購買費	3,900円	山陽新聞 12月分
7.12.29	新聞購買費	2,100円	津山朝日新聞 12月分
8. 1.26	新聞購買費	3,900円	山陽新聞 1月分
8. 1.27	新聞購買費	2,100円	津山朝日新聞 1月分
8. 2.26	新聞購買費	3,900円	山陽新聞 2月分
8. 2.27	新聞購買費	2,100円	津山朝日新聞 2月分
8. 3.26	新聞購買費	3,900円	山陽新聞 3月分
8. 3.27	新聞購買費	2,100円	津山朝日新聞 3月分
小　計		230,722円	

※ 費目ごとに各支出伝票を整理し、その表紙としてご活用ください。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　7年　　4月　　2日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	3，３００円

支出内容	書籍購入費 （「産直コペル」2025/04～2026/02　隔月発行分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

（参考様式４）

領収書貼付票（費目：資料購入費　　）

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	[redacted]								
加入者名	株式会社　産直新聞社								
金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
				¥	3	3	0	0	
ご依頼人	田口浩二　様								
料金	（消費税込み）203円		日附印 内税10%18円 07-04-02 T501000111 2730 ユウチョ (54127) N94180006						
備考	現金扱								

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

※　領収書は重ならないよう貼り付けること。

※　感熱紙の領収書はコピーしたものを貼り付け、原本は裏面に貼り付けること。

農と暮らしの新たな視点を探る

産直コペル

sanchoku coper



特集

「伝統野菜」を、未来へつなぐ。

特別トークセッション

「食べチョク」執行役員 松浦悠介さん×本誌編集長

直売所、リアルとオンラインの壁を越えて

2025.5
Vol.71

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　7年　4月　2日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	4，400円

支出内容	書籍購入費 (「季刊地域」2025春～2026冬号分)

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

（参考様式４）

領収書貼付票（費目：資料購入費　　）

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	[redacted] 通信欄 加入者負担
加入者名	一般社団法人 農山漁村文化協会
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 ¥ 4 4 0 0
ご依頼人	おなまえ ※3377011370 【住所等非表示払込書】 田口　浩二 代行会社 三井住友カード株式会社　様
料金	日附印 07-04-02 T501000111 2730 ユウチョ
備考	現金扱 (54127) N94180005

CVS店舗控

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

※　領収書は重ならないよう貼り付けること。

※　感熱紙の領収書はコピーしたものを貼り付け、原本は裏面に貼り付けること。

現代農業 2025年5月増刊
2025年5月1日発行　昭和21年11月17日
第3種郵便物認可　ISSN0289-3517
定価1100円
Spring 2025
No.61

動く人たちがここにもあそこにも

季刊地域



農家が足りない！
増やすために動く

足りなくなったのはなぜ？
小間切れ農地で小さい農業を増やす
こんな仕掛けで――集落営農・農村RMO・地域おこし協力隊・農地中間管理チームほか
枝物・クランベリー・ヘーゼルナッツを粗放栽培

多面的機能支払の第3期
どう変わる？

超小集電　フォトロゲイニングとは
農村RMOの運営資金確保策／災害復旧基金
財政審が言っていることは本当か？
新連載　もうひと花咲かせましょう／まちづくりは木から

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　７年　　４月　　２日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	１９，２５０円

支出内容	新聞購買費 （「農村ニュース」2025/04～2026/03 分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

（参考様式４）

領収書貼付票（費目：資料購入費　　）

郵便振替払込金受領証　（振込金（兼手数料）受領書）

この受領証は、大切に保存してください。

口座記号番号	[redacted]											
加入者名	株式会社　国　際　農　業　社											
金額	記		千	百	十	万	千	百	十	円		
						1	9	2	5	0		
振込先	銀行								支店			
ご依頼人	おなまえ 岡山県津山市上横野377 田口　浩二　様											
料金	（消費税込み） 円	日附印	7.4.2									
備考												

（ゆうちょ銀行）

※　領収書は重ならないよう貼り付けること。

※　感熱紙の領収書はコピーしたものを貼り付け、原本は裏面に貼り付けること。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　7年　4月　16日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	１３２，０００円

支出内容	有料データベース利用料 （「iJAMP 基本情報料」2025/04/01～2026/03/31 分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

R.7.4.16 振込

〒708-0801
岡山県
津山市
上横野３７７

田口浩二津山市議会議員
様

お客様番号 [redacted]

領収証

田口浩二津山市議会議員
様

領収日
領収金額 132,000円
(消費税等 12,000 円を含む)
領収番号 4196103

期　間　令和 7年 4月 1日~令和 8年 3月 31日

▼この件についてのお問い合わせ先
岡山支局　(TEL:086-222-7601)

種類	配信先（敬称略）	数量	月額	月数	領収金額
iJAMP(時事行財政情報ﾓﾆﾀ)	田口浩二津山市議会議員	1	10,000	12	120,000
		10%	【対象金額】		120,000
			【消費税等】		12,000

上記の通り領収いたしました。

〒1[redacted]
東京[redacted]目15番8号
株式会社[redacted]通信[redacted]
代表取締役[redacted]克彦
電話 0[redacted]番 代[redacted]

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　7年　4月　28日		
費　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金　額	3，900円

支出内容	新聞購買費 （山陽新聞４月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領　収　証

令和７年　4　月分

[redacted]

田口　浩二　様

御購読紙	部数	金　額
※山陽新聞朝刊	1	3,900
領　収　金　額（税込）		3，900円

毎度ご愛読ありがとうございました。
上記のとおり領収致しました。

領収 2025年 04月 28日(引落日)

山陽新聞販売㈱津山支社
上河原　支店
津山市上河原３５５－５
☎ (0868) 23-1783

[redacted] 取扱者印 [redacted]

１０％対象　０円（内消費税等　０円）
８％対象　３，９００円（内消費税等　２８８円）
※軽減税率対象　登録番号：T9260001002655
新規ご購読者紹介キャンペーン中！ご紹介いただいた方にお好きな商品をプレゼント！！

取扱者印のないものは無効とします。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　7年　4月　28日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	2，100円

支出内容	新聞購買費 （津山朝日新聞４月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書　　**田口浩二　様**

(新聞購読料)

4月分　**¥2,100**

(消費税8%155円込み)軽減税率対象　口座振替分

上記金額領収いたしました

2025年４月28日

津山朝日新聞社

T7260001019957

津山市田町13

TEL(0868)22-3135(代)

領収印

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　7年　　5月　　26日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	3，９００円

支出内容	新聞購買費 （山陽新聞５月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)



領　収　証

令和７年　　５月分

[redacted]

田口　浩二　様

御購読紙	部数	金　額
※山陽新聞朝刊	1	3,900
領収金額（税込）		3，９００円

毎度ご愛読ありがとうございました。
上記のとおり領収致しました。

領収 2025年 05月 26日(引落日)

[redacted]　取扱者印 [redacted]

山陽新聞販売㈱津山支社
上河原　支店
津山市上河原３５５－５
☎ (0868)23-1783

１０％対象　　０円（内消費税等　　０円）
８％対象　　３，９００円（内消費税等　　２８８円）
※軽減税率対象　　登録番号：T9260001002655
新規ご購読者紹介キャンペーン中！ご紹介いただいた方にお好きな商品をプレゼント！！

取扱者印のないものは無効とします。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　7年　5月　27日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	2，100円

支出内容	新聞購買費 （津山朝日新聞５月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書　　**田口浩二　様**

(新聞購読料)

5月分

¥2,100

(消費税8%155円込み)軽減税率対象　　口座振替分

上記金額領収いたしました

2025年5月27日

津山朝日新聞社

T7260001019957

津山市田町13

TEL(0868)22-3135(代)

領収印

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　7年　　6月　　26日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	3，900円

支出内容	新聞購買費 （山陽新聞６月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領　収　証
令和７年　　6　月分

[redacted]

田口　浩二　様

御購読紙	部数	金　額
※山陽新聞朝刊	1	3,900
領　収　金　額 (税込)		3，900 円

ご購読ありがとうございました。
上記のとおり領収しました。

領収 2025 年 06 月 26 日(引落日)

山陽新聞販売㈱津山支社
上河原　支店
津山市上河原３５５－５
☎ (0868)23-1783

[redacted] 取扱者印 [redacted]

１０％対象　　０円（内消費税等　　０円）
８％対象　　３，９００円（内消費税等　　２８８円）
※軽減税率対象　　登録番号：T9260001002655
新規ご購読者紹介キャンペーン中！ご紹介いただいた方にお好きな商品をプレゼント！！

取扱者印のないものは無効とします。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　7年　6月　27日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	2，100円

支出内容	新聞購買費 （津山朝日新聞６月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書　　**田口浩二　様**

(新聞購読料)

6月分

¥2,100

(消費税8%155円込み)軽減税率対象　　口座振替分

上記金額領収いたしました

2025年6月27日

津山朝日新聞社

T7260001019957

津山市田町13

TEL(0868)22-3135(代)

領収印

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　７年　　７月　　１８日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	１１，４７２円

支出内容	書籍購入費 （「地方議会人」令和７年４月～令和８年３月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

（参考様式４）

領収書貼付票（費目：資料購入費　　）

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	[redacted]
加入者名	株式会社　中央文化社
金額	¥11,472
ご依頼人	C 808 田口 浩二 様 様
料金	
備考	現金扱 (54049)

日附印
07-07-18
T501000111
2730 ユウチョ
N94210003

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。

※　領収書は重ならないよう貼り付けること。

※　感熱紙の領収書はコピーしたものを貼り付け、原本は裏面に貼り付けること。

令和7年4月1日発行（毎月1回1日発行）　第55巻第11号
ISSN　2188－3793

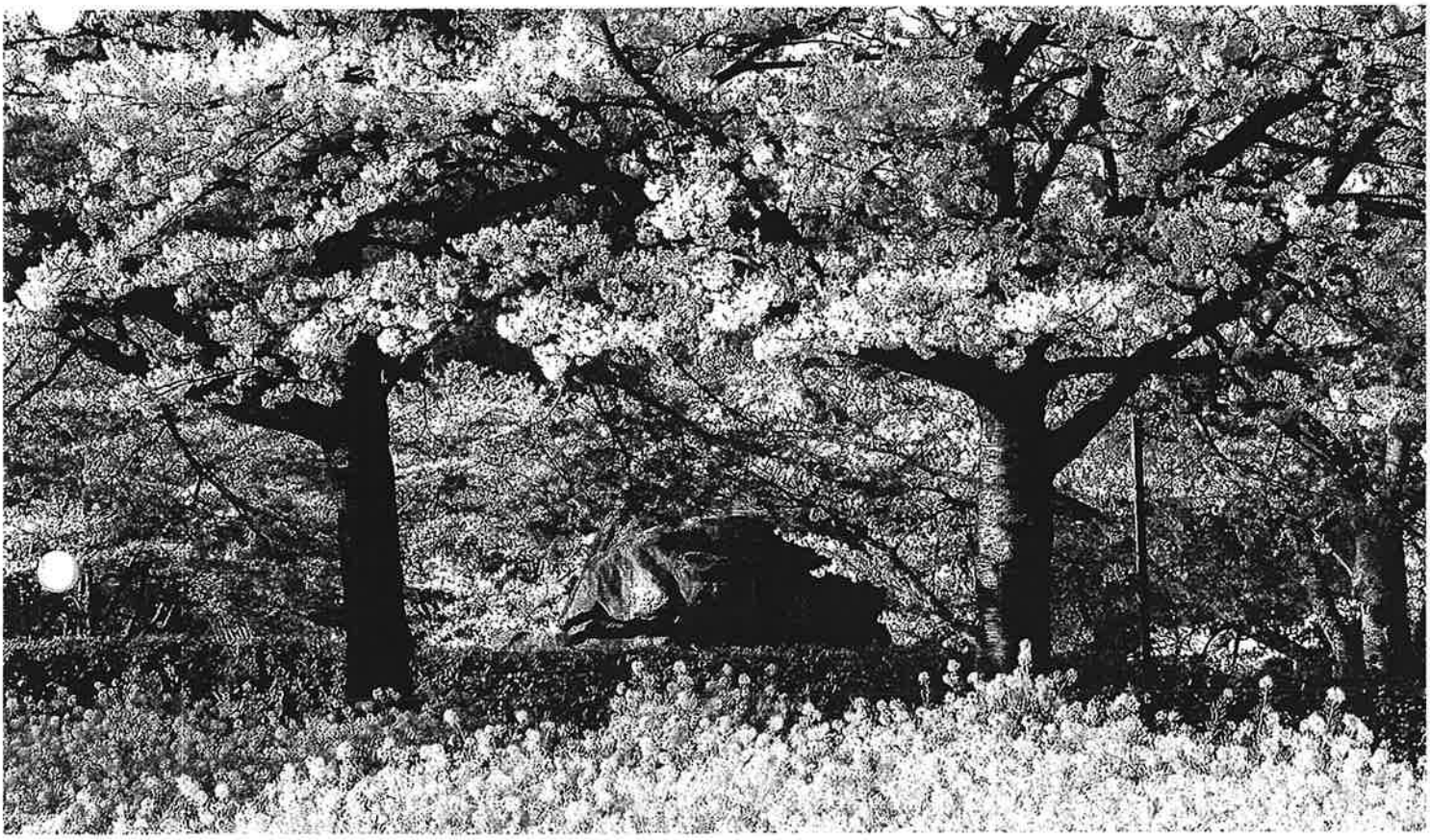
議員研修誌

地方議会人

2025
4

共同編集　全国市議会議長会・全国町村議会議長会

地方こそ成長の主役　地方創生2.0を考える



巻頭言　河合雅司

■ 特集

▶「地方創生2.0」に期待する
／林崎　理

▶石破内閣の「地方創生」そのゆくえ
／青山彰久

▶地方創生における発想の転換
／小林味愛

■ 新連載

▶地方議員のためのハラスメント防止入門
／太田雅幸

▶議会力アップのための基盤を整備しよう！
／江藤俊昭

■ 現地報告

福井県大野市／長野県東御市／奈良県広陵町
／福岡県赤村

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　7年　7月　28日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	2，100円

支出内容	新聞購買費 （津山朝日新聞７月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書　　**田口浩二　様**

(新聞購読料)

7月分

¥2,100

(消費税8%155円込み)軽減税率対象　　口座振替分

上記金額領収いたしました

2025年7月28日

津山朝日新聞社

T7260001019957

津山市田町13

TEL(0868)22-3135(代)

領収印

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　7年　8月　27日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	2，100円

支出内容	新聞購買費 （津山朝日新聞８月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書　　**田口浩二　様**

(新聞購読料)

8月分　**¥2,100**

(消費税8%155円込み)軽減税率対象　口座振替分

上記金額領収いたしました

2025年 8月27日

津山朝日新聞社

T7260001019957

津山市田町13

TEL(0868)22-3135(代)

領収印

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　７年　　９月　　２９日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	２，１００円

支出内容	新聞購買費 （津山朝日新聞９月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書　　田口浩二　様

(新聞購読料)

9月分

¥2,100

(消費税8%155円込み)軽減税率対象　　口座振替分

上記金額領収いたしました

2025年9月29日

津山朝日新聞社

T7260001019957

津山市田町13

TEL(0868)22-3135(代)

領収印

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　7年　10月　27日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	3，900円

支出内容	新聞購買費 （山陽新聞 10 月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収証

令和７年　１０月分

[redacted]

田口　浩二　様

御購読紙	部数	金額
※山陽新聞朝刊	1	3,900
領収金額（税込）		3，900円

お支払ありがとうございました。
上記のとおり領収しました。

領収 2025 年 10 月 27 日(引落日)

山陽新聞販売㈱津山支社
上河原　支店
津山市上河原３５５－５
☎ (0868)23-1783

[redacted]　取扱者印 [redacted]

１０％対象　０円（内消費税等　０円）
８％対象　３，９００円（内消費税等　２８８円）
※軽減税率対象　登録番号：T9260001002655
新規ご購読者紹介キャンペーン中！ご紹介いただいた方にお好きな商品をプレゼント！！

取扱者印のないものは無効とします。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　7年　10月　27日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	2，100円

支出内容	新聞購買費 （津山朝日新聞10月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書　　田口浩二　様

(新聞購読料)

10月分　　**¥2,100**

(消費税8%155円込み)軽減税率対象　　口座振替分

上記金額領収いたしました

2025年10月27日

津山朝日新聞社

T7260001019957

津山市田町13

TEL(0868)22-3135(代)

領収印

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　7年　　11月　　26日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	3，900円

支出内容	新聞購買費 （山陽新聞 11 月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領　収　証

令和７年　１１　月分

[redacted]

田口　浩二　様

御購読紙	部数	金　額
※山陽新聞朝刊	1	3,900
領収金額（税込）		3，900 円

毎度ご愛読ありがとうございました。
上記のとおり領収致しました。

領収 2025 年 11 月 26 日(引落日)

[redacted]　取扱者印 [redacted]

山陽新聞販売㈱津山支社
上河原　支店
津山市上河原３５５－５
☎ (0868)23-1783

１０％対象	０円	（内消費税等	０円）
８％対象	３，９００円	（内消費税等	２８８円）

※軽減税率対象　　登録番号：T9260001002655

新規ご購読者紹介キャンペーン中！ご紹介いただいた方にお好きな商品をプレゼント！！

取扱者印のないものは無効とします。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　7年　11月　27日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	2，100円

支出内容	新聞購買費 （津山朝日新聞11月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書　　田口浩二　様

(新聞購読料)

11月分　　¥2,100

(消費税8%155円込み)軽減税率対象　　口座振替分

上記金額領収いたしました

2025年11月27日

津山朝日新聞社

T7260001019957

津山市田町13

TEL(0868)22-3135(代)

領収印

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　７年　　１２月　　２６日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	３，９００円

支出内容	新聞購買費 （山陽新聞 12 月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領　収　証

令和７年　１２　月分

[redacted]

田口　浩二　様

御購読紙	部数	金　額
※山陽新聞朝刊	1	3,900
領収金額（内税）		3，９００円

毎度ご愛読ありがとうございました。
上記のとおり領収致しました。

領収 2025 年 12 月 26 日(引落日)

[redacted]　[redacted]

山陽新聞販売㈱津山支社
上河原　支店
津山市上河原３５５－５
☎ (0868)23-1783

１０％対象　　０円（内消費税等　　０円）
８％対象　　３，９００円（内消費税等　　２８８円）
※軽減税率対象　　登録番号：T9260001002655
新規ご購読者紹介キャンペーン中！ご紹介いただいた方にお好きな商品をプレゼント！！

取扱者印のないものは無効とします。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　７年　１２月　２９日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	２，１００円

支出内容	新聞購買費 （津山朝日新聞 12 月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書　　**田口浩二　様**

(新聞購読料)

12月分

¥2,100

(消費税8%155円込み)軽減税率対象　　口座振替分

上記金額領収いたしました

2025年12月19日

津山朝日新聞社

T7260001019957

津山市田町13

TEL(0868)22-3135(代)

領収印

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　８年　１月　２６日		
費　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金　額	３，９００円

支出内容	新聞購買費 （山陽新聞１月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領　収　証

令和８年　１月分

[redacted]

田口　浩二　様

御購読紙	部数	金　額
※山陽新聞朝刊	1	3,900
領収金額（税込）		３，９００円

毎度ご愛読ありがとうございました。
上記のとおり領収致しました。

領収 2026 年 1 月 26 日(引落日)

[redacted] 取扱者印 [redacted]

山陽新聞販売㈱津山支社
上河原　支店
津山市上河原３５５－５
☎ (0868)23-1783

１０％対象　０円（内消費税等　０円）
８％対象　３，９００円（内消費税等　２８８円）
※軽減税率対象　登録番号：T9260001002655

新規ご購読者紹介キャンペーン中！ご紹介いただいた方にお好きな商品をプレゼント！！

取扱者印のないものは無効とします。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　8年　1月　27日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	2，100円

支出内容	新聞購買費 （津山朝日新聞１月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書　　**田口浩二　様**

(新聞購読料)

1月分　　**¥2,100**

(消費税8%155円込み)軽減税率対象　　口座振替分

上記金額領収いたしました

2026年1月27日

津山朝日新聞社

T7260001019957

津山市田町13

TEL(0868)22-3135(代)

領収印

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　８年　２月　２６日		
費　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金　額	３，９００円

支出内容	新聞購買費 （山陽新聞２月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領　収　証

令和８年　２月分

[redacted]

田口　浩二　様

御購読紙	部数	金　額
※山陽新聞朝刊	1	3,900
領　収　金　額（税込）		３，９００円

毎度ご愛読ありがとうございました。
上記のとおり領収致しました。

領収2026年　2月　26日(引落日)

山陽新聞販売㈱津山支社
上河原　支店
津山市上河原３５５－５
☎ (0868)23-1783

[redacted]　取扱者印 [redacted]

１０％対象　０円（内消費税等　０円）
８％対象　３，９００円（内消費税等　２８８円）
※軽減税率対象　登録番号：T9260001002655
新規ご購読者紹介キャンペーン中！ご紹介いただいた方にお好きな商品をプレゼント！！

取扱者印のないものは無効とします。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　８年　　２月　　２７日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	２，１００円

支出内容	新聞購買費 （津山朝日新聞２月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書　　**田口浩二　様**

(新聞購読料)

2月分

¥2,100

(消費税8%155円込み)軽減税率対象　　口座振替分

上記金額領収いたしました

2026年2月27日

津山朝日新聞社

T7260001019957

津山市田町13

TEL(0868)22-3135(代)

領収印

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　　８年　　３月　　２６日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	３，９００円

支出内容	新聞購買費 （山陽新聞３月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領　収　証

令和８年　３月分

[redacted]

田口　浩二　様

御購読紙	部数	金　額
※山陽新聞朝刊	1	3,900
領収金額（税込）		３，９００円

領収 2026 年 3 月 26 日(引落日)

[redacted]　取扱者印 [redacted]

山陽新聞販売㈱津山支社
上河原　支店
津山市上河原３５５－５
☎ (0868)23-1783

１０％対象　　０円（内消費税等　　０円）
８％対象　　３，９００円（内消費税等　　２８８円）
※軽減税率対象　　登録番号：T9260001002655
新規ご購読者紹介キャンペーン中！ご紹介いただいた方にお好きな商品をプレゼント！！

取扱者印のないものは無効とします。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　8年　3月　27日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　4　広聴費 5　資料作成費　⑥　資料購入費 7　人件費　8　事務所費	金額	2，100円

支出内容	新聞購買費 （津山朝日新聞３月分）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書　　**田口浩二　様**

(新聞購読料)

3月分

¥2,100

(消費税8%155円込み)軽減税率対象　　口座振替分

上記金額領収いたしました

2026年3月27日

津山朝日新聞社

T7260001019957

津山市田町13

TEL(0868)22-3135(代)

領収印